

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月05日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000001"/>	整理番号 <input type="text" value="11584"/>	担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="定在音場を用いた火炎制御法"/>		
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/>	<input type="text" value="電気・電子"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="工業炉, バーナ, ガスタービンエンジン"/>		
目 的	<input type="text" value="燃料を含む混合気を燃焼する際に, 通常使われている, 旋回羽根(スワロー)や保炎器は, 流れを乱したり, 火炎の熱を直接受けることから, 燃焼装置での圧力損失低減や耐熱性の面で不利となっている。これらの欠点を取り除き, 流れに非接触で, 火炎を安定化し, 高速気流中で保炎させることを目的とする。"/>		
技術概要	<input type="text" value="燃焼装置の保炎位置において, 定在音場を形成し, その圧力振動の節(=速度変動の腹)に火炎が位置するように音響振動を制御する。この音響振動場と燃焼による発熱との干渉現象により, 逆流を伴う二次流れが生じ, 気流中に低流速領域を生じさせる。これと, 振動による火炎の皺形成の結果生じる燃焼速度の増加との相乗効果によって, 火炎が気流に流されずに, その場にとどまり, 安定的に保炎することが達成される。これまでに混合気ノズルから約50m/sまでの噴出速度で噴出した際の保炎に成功している。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp